

防コミの歩き方



地域で取り組む防災活動と絆

●名倉地区防災福祉コミュニティ紹介

名倉地区防災福祉コミュニティは、長田区の北東部に位置し山麓沿いの住宅地域となっています。また名倉小学校区で活動を展開するコミュニティで平成14年に設立しております。

●活動の紹介

名倉地区防災福祉コミュニティでは、定例の訓練のほか将来に向けた取り組みとして、近隣の小学校や中学校との連携した訓練のほか、最近では児童を対象とした「名倉防災キッズ」を募集し、人と防災未来センターや自衛隊の駐屯地などへの見学会を開催しています。

「防災キッズ」の子供たちには、大人からの一辺倒な教育を避けつつ、子供たちに主体性や当事者意識を自覚させることを心掛けています。

また、自治会や消防団との連携として年末警戒や長田区北部の獅子ヶ池での放水訓練や、今年の3月3日には長田区防災訓練に参加し、土嚢の作成、仮設トイレや段ボールベッドの組み立てなどを行いました。

●名倉防コミの課題

名倉地区防災福祉コミュニティ内の地域にお住いの方々は、商売をされている方やサラリーマンの方が多く、地域の活動に参加できる方が少ないのが課題だと感じています。

この課題については、学校との繋がりを大切にして先生たちに助けをもらったり、日ごろの活動に参加が可能な女性の力や優しさの部分を手よく生かして防コミ活動の推進力としています。

また、防災福祉コミュニティのメンバーが高齢化していることも課題の一つです。

できれば若い方に参画していただきたいのですが、なかなかハードルが高いようです。

●おわりに

大災害の発生には、地域の連携を強くし防災力を高めておくことが大切だと思っています。

今後起こると言われている南海トラフ地震を見据え、行政や関係機関のご指導ご協力をいただきながら、地域住民一同災害に強いまちづくりを目指し、今後も取り組んでいきたいと思っております。

(名倉防コミ本部長 植野久仁子)



「防災キッズ」の子供たちとの訓練



獅子ヶ池での放水訓練